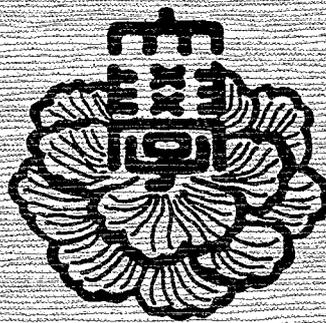


ISSN 0286-5890

# 弘前大学保健管理概要

第35号



2014年

弘前大学保健管理センター

# 目 次

巻頭言：弘前大学保健管理センター所長	高 梨 信 吾	3	
<b>I 報 告</b>			
自律的な行動変容を目指して一行動活性化による学生の心理教育的支援 Behavioral Activation to create changes of daily-life based on the Psychological Education for University Students			
	弘前大学保健管理センター	高 橋 恵 子	5
<b>II 平成25年度保健管理業務報告</b>			
1. 保健管理センター年間行事		13	
2. 保健管理センター業務対象学生及び職員数		15	
3. 学生の健康診断		16	
4. 職員の健康診断		25	
5. 教育学部附属学校定期健康診断受検状況		33	
6. 保健管理センター月別利用状況		34	
<b>III 平成25年度カウンセリング報告</b>			37
<b>IV 保健管理センター概況</b>			39
<b>V 衛生管理者等名簿</b>			41
編集後記			43

# 巻 頭 言

弘前大学保健管理概要35号をお届けします。

平成26年、保健管理センターの健診で大きな変化があったものは、胃検診における、ABC リスク検診の導入です。そのきっかけは、医学部附属病院消化器内科からの導入の勧めによります。私自身は呼吸器内科医であり、少し勉強させて頂きました。

大学の職員に対する健康診断は、労働安全衛生法と学校保健安全法により規定されています。この2つの健診は一つだけ異なる点があります。学校保健安全法には、胃の疾病及び異常の有無についての検査項目が追加されています。さらにその方法も指定されており、胃部X線検査によるとされていました。学校保健安全法にのみ胃の検査が追加されている理由は明らかではありませんが、おそらくは制定された当時、胃がんが国民の健康上大きな問題であったのだと思います。法律が制定された当時の日本人の平均寿命は60歳代でしたので、40歳から胃のX線検査を行ってもあまり問題はなかったのだと思います。平均寿命が80歳を超えた現在、健診のあり方を考える必要があります。さらに、医療の進歩により、健診にはマンモグラフィ、PET、CTなどが導入され、さらに精査の場合もあり、総合的に被ばくの問題を考慮する必要があります。実際 Lancet に日本の癌の3.2%は診断被ばくによるものであるとの論文が掲載されています。

一方、胃がんの原因は過去にはいろいろなことが言われてきましたが、現在はピロリ菌の感染が重要であることが判明しています。ピロリ菌の感染とその後に生じる萎縮性胃炎がなければ、胃がんは生じないことがわかってきました。ABC 検診とは、ピロリ菌の感染と萎縮性胃炎の有無を採血により、判定するものです。

弘前大学は全国の国立大学に先駆けて、平成26年より胃の健診に ABC リスク検診を導入しました。これは、当センターとしては、自慢できることです。問題点としては、法令に抵触しないかという点でしたが、幸いにも平成26年4月に学校保健安全法が改定になり、胃の検査は医師が適当と認める方法となりました（法令というのは、現実に即していないことが多いものです。ちなみに同じ改定で、血圧の測定に水銀血圧計以外の血圧計が利用できるとされたのは、今更という感じで、ちょっと驚きました）。ABC リスク検診の導入により、大学職員の胃の検診の受診率は、10%から80%になりました。

問題点がない訳ではありません。ABC リスク検診により、その後の精査が必要になる方が3割程度出てきます。胃がんの診断という観点からは、問題がないのかもしれませんが、検診の要精査率としては、高すぎると思います。

将来、胃がん検診として、さらに感度と特異度の高い検診が開発されることを期待します。

平成27年1月

弘前大学保健管理センター所長

高 梨 信 吾

## 編集後記

学生からの相談の内容は多種多様です。

たとえば、人間関係の悩み。人間関係にもいろいろあります。大学の友人、高校時代からの友人。恋人。研究室の先輩・同級生・後輩、指導教員。部活やサークル活動の先輩・同級生・後輩。バイト先で出会う人。そして家族。

人間関係で望まれるのは、「仲良くなりたい」ということだけではありません。「うまく離れたい」ということもあります。また、個人的なことだけではなく、グループをまとめ、後輩を指導し育てるというリーダーシップにかかわることも悩みの種になります。こうして考えてみると、大学生時代は、これまでの人間関係をふり返りながら、新しい人間関係を築くときであり、友情のみならず、将来のパートナー探しの準備である愛情、社会人になる準備であるリーダーシップ、年長者とのつきあい等々さまざまな体験をする時期であることを実感します。

相談室という小さな部屋で、大学から社会へと向かう学生の体験の広がり共有できることは学生相談の醍醐味であるとあらためて感じています。

(田名場 美雪)

---

---

### 弘前大学保健管理概要

35号

平成26年

発行編集者 弘前大学保健管理センター  
弘前市文京町1  
TEL (0172) 39-3128

印刷 株式会社 笹 軽印刷  
弘前市下白銀町11  
TEL 32-7530

---

---